

子宮体癌における宿主抗腫瘍免疫能に關与する

新たな予後因子についての研究

患者様の情報の研究利用についてのお知らせ

本研究の目的

本研究は、慶應義塾大学医学部産婦人科で行っている臨床研究です。

目的は、子宮体癌における抗腫瘍免疫の働きを調べることです。その上で、将来的に予後を予測する新規診断法の確立や新規治療として免疫療法の実用化を目指していくものであります。

本研究の概要

平成2年から平成23年に慶應義塾大学病院産婦人科において婦人科悪性腫瘍に手術を受けられた患者の皆様のご摘出病理標本のうち、診断で使用されず保存されている検体を用いて、免疫組織化学染色という方法を用いて免疫に關係する物質や細胞を顕微鏡下に観察します。診療記録(カルテ)の中にある各種の診療情報(年齢・組織型・進行期・予後など)と比較し分析します。研究対象として最大300名程度の皆様のご手術検体および診療録の情報を利用させていただきます。

研究期間 平成24年4月1日～平成27年3月31日

プライバシーの保護に関して

研究において利用させていただく臨床情報や検査結果は既に診断治療のために施行されたものを用いるので、患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報は、すべて日常の診療業務の中から生み出されたものであり、研究自体を目的として収集されたデータではありません。すべてのデータは、患者の皆様個人を直接特定できない匿名化情報として収集された上、厳格に保護されます。またこれらの研究課題のすべては、慶應義塾大学医学部倫理委員会における審査をうけ承認を得られたものです。

もしこの研究についてのご質問等がおありの場合は、研究責任者までいつでもご質問ください。また御自身の情報を本研究に利用することについて、ご了承いただけない場合には、以下の研究責任者に御連絡ください。なおその場合においても、皆様のご病院サービスご利用について不利益が生じることは、全くございませんのでご安心ください。

平成24年4月1日

研究責任者

慶應義塾大学医学部産婦人科教室 進 伸幸

連絡先: 03-5363-3819 (FAX 03-3353-0249)